

◀ 香美町区長会・自治会長会 ▶

開催日：6月7日（火） 場所：香住区中央公民館 文化ホール

区長参加数：73名

■ 日本赤十字募金について ■

【質疑】

今回、募金が三種類あり、その内の赤十字の募金について、本来募金は件数と金額が明示できれば良いと思うが、個人のリストを付けてくださいと記載があったのは何故か。

【応答】

日赤の募金をするイコール日赤の会員になるという事ですので、日赤から寄付金の証明書の発行をする際に名前が必要になるということです。（福祉課長）

【質疑】

リストが必要という事ですが、匿名の方が何名かおられるが、それがしっくりいかない点がある。個人情報なので十分注意していただき、余分な事は簡素化していただきたい。

【応答】

匿名の関係ですが、持ち帰って回答いたします。（福祉課長）

【後日回答】

匿名でご協力いただくことも可能です。

受領書付き募金袋でご協力いただく場合は申込書【A票】の「匿名」に○を付けて、ご提出ください。受領書付き募金袋を使用しない場合は名簿一覧（任意様式）に「匿名○件」と記載して、ご提出ください。

【質疑】

赤十字は多くの寄付金を集めて運用しているが、特殊な封筒を作っている。封筒のコストを下げれば、経費削減効果が募金効果に直結する。募金が収納できる封筒であれば良いのではないか。

【応答】

募金の封筒は三部複写になっていたと思います、名前を書いていたいただき本人控え、提出用にもなっており、日赤から送付されてきます。参考としてお伺いして、また機会があればそういう意見を述べさせていただきたいと思います。（福祉課長）

【質疑】

リストが必要という事であれば、何故封筒に地区名と名前を書いているのか整合が取れない、リストは不要ではないか。

【応答】

封筒に依らずに、地区の会計に上積みして区長さんが一括で納めるというケースもあります。そういう場合に任意の様式のリストを使用していただくという形でお願いをしています。(福祉課長)

■町内の環境美化について■

【質疑】

(施政方針の資料の中に) 町を美しくする環境美化の事について記載が無い。町自体を綺麗にしていくという活動を活発にしていってほしいのではないかと。

【応答】

今日の資料には環境美化の記述はありませんが、その事についても取り組みをしており、従前に無かった環境美化推進隊も私が町長になってから作らせていただき三期目となり、毎日会計年度任用職員さんに町の環境美化をしていただいています。日々、町民課とも協力しながら、道路脇の除草だとか直接指示を出していることもあり、町内美化に取り組んでいます。今後も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

■余部から久谷の通行止めについて■

【質疑】

余部から久谷に抜ける町道が全面通行止めで通れない状況。高規格道路を使えば通れますが、小さい單車や歩行者は抜けることができない。通行止めを早期に解消していただきたい。

【応答】

浜坂に抜ける旧国道の事だと思います。桃観トンネルを抜けて浜坂側に降りてヘアピンを曲がって次のカーブくらいで道路の段差ができ、ずれている。新温泉町で学識経験者も入られて調査をされています。状態を地滑りとしていて、地滑りの対策として観測を長期間して、地滑りの範囲、規模を特定しないと対策の工法ができない。そこを急いでしまうときちりとした対策ができないということですので、そういうことをしています。それから災害の査定を受けられてからの復旧になるということで、安全に、確実に復旧をするための調査をさ

れているので、期間が長くなりますけれども、ご理解いただきたいと思います。(建設課長)

【質疑】

可能であれば仮道の設置ということは可能でしょうか。

【応答】

あくまでも事業主体が新温泉町になりますので、そういったご意見があったことはお伝えして検討はしていただきたいと思いますが、地形的にはかなり難しいという気はしていますけれども、今後の通行止めの期間もありますので、ご意見はお伝えしたいと思います。(建設課長)

■金融機関との情報交換について■

【質疑】

(施政方針の資料の中で) 将来を担うひとづくりという欄がありますが、働ける場所、働く場所が無いので、働く場所を確保するという意味で、金融機関等との情報交換会を持ってもらいたい。JAや但馬銀行、但馬信金と色々あるが、地域に活かせる何か情報を持っていると思う。そういった情報を香美町の中で題材にしてそれを活かす方向性を作っていただきたい。

【応答】

金融機関との意見交換についてですが、すでに銀行、漁協、JAそれぞれ意見交換は常にさせていただいております。但馬銀行の専務さんも来られて何度も意見交換させていただいておりますし、各支店において事業者ごとの提案も再々させていただいております。特に漁協でも農林中金との連携事業で地域の資産確保や業者に対する金融支援、あるいは新製品の開発に対するノウハウ、そういった意見交換は随時させていただいております。但馬銀行からもコロナ禍で交付金であったり、事業者のための事業転換補助金だったりとかそういった提案もたくさんいただいております。町内の事業者の皆さんも多くの事業者の皆さんが様々な金融機関からの提言、有利な融資制度、返済を組む必要のない補助制度の申請というのも観光商工課で取り扱っており、事業者の皆さんにも喜んでいただいております。区長さんの提言の内容、今後も引き続き進めてまいります。(町長)

【質疑】

それを村岡、小代へ水平展開は当然されていますよね。

【応答】

金融機関においては、同じように町内の支店長さんもアンテナを張ってそれぞれの事業者の皆さんに情報を提供に努めておられると思います。定期的な会議ではなく、それぞれの地元の金融機関が得意とする分野がありますので、漁協のマリンバンクですと、海に関わる国の補助金だとか、様々な補助金等を経営者の皆さんにきちっとした提案を、役場を介してさせていただいておりますから、これは香住・小代・村岡同じような事が言えると思います。受けるばかりの事業者だけでなく、金融機関も活用していただくことで金融機関側もプラスになりますから、積極的に行っていただいております。(町長)

■教育の再編について■

【質疑】

学校再編について8月には一定の方向性を出すとしているが、どこまで期待できるのか、もう少し詳しく教えていただきたい。

【応答】

今、そのことを内部で検討しております。それぞれの地域の中で行ってまいりました懇談会の結果を集計したり、今後の展開について内部で協議をさせていただいております。夏ごろを目途に総合教育会議等、それぞれの手順を踏んでいかなければなりません。ただ、今のところ懇談会の中でも住民の皆さんからいただいた意見は、統合に舵を切って欲しいという意見が多数でした。教育長も含めて意見を聞かせていただいておりますから、そういう方向がどうなるか、懇談会の場に参加されていない方や、統合と逆の考え方を持っておられる方の意見が今後役場に寄せられる可能性もございます。そういう事も含めて少し時間をいただきたいということでございますので、今の時点でこう決定していくという事を今この場でご説明できる段階では無いと考えております。夏ごろにはきちっと町が主体的に住民の皆さんに方向性を説明できるように作ってまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。(町長)